

1 開催内容

ねらい：子供が本音で、思いや考えを交わす場を創出し、子供がいじめ防止について考えることを通して、どのような取組が必要であるかを議論し、協議を通して必要な取組を考える。

開催日時：11月2日（土）午前9時30分～正午

場所：二庁ホール

参加者：対面9名、オンライン1名

- 会次第：1 教育委員会挨拶
2 これまでの協議の概要について報告
3 アンケート結果の考察・協議
4 高校生いじめ防止協議会からの提案

2 各委員によるアンケート結果の考察・提案

アンケート結果の分析・考察

・スクールカウンセラーはいじめ防止に効果的である

⇒生徒は理解している

・カウンセラールームを気軽に利用できていない

⇒利用していることが恥ずかしい

⇒利用できる時間帯が限られているor分からない



生徒への提案

- ・相談しやすい雰囲気づくり(いじめの早期発見)
- ・交流の場作り、交流の場に参加する(信頼関係の構築)
- クラスメイトだけでなく部活や委員会、地域のイベントや行事などでの関わりを大切にする。
- ・一人で抱え込みすぎずに、周りの人に言い出しにできなかったら匿名の相談場所を利用したりする。など

いじめを防止するにあたり

- ・自分に出来ること→悩んでいる人がいたら積極的に相談に乗ったりいじめの現場を見つけたら間に入ったりする
- ・学校にできること→定期的にアンケートを取る
- ・社会にできること→いじめを許さないという気持ちを忘れないこと

3 協議の内容

子供たちがいじめを見逃さない環境を作ることが必要ではないか。

地域との関わりを増やすことで、子供たちが気軽にSOSを出せるようになり、いじめ防止や早期発見につなげることができないか。

カウンセリングルームの開放や、オンラインカウンセリングの併用など、いつでも相談できる環境が必要ではないか。



4 高校生いじめ防止協議会からの主な提案

自分たちがすべきこと

- ・ いじめは自分たちの問題という当事者意識をもつ
- ・ いじめを許さないという雰囲気をつくる
- ・ SNSの使い方を改善する

学校で行ってほしいこと

- ・ グループワークの方法の工夫等、授業を改善する
- ・ 生徒主体の行事を増やす
- ・ カウンセリングルームの開放や環境を整備する
- ・ いじめに関するポスターを作成し校内に掲示する

社会にお願いしたいこと

- ・ 生徒が主体的となる教育活動を推進する
- ・ いじめアンケートを電子化する
- ・ カウンセリングを電子予約システムにする
- ・ いじめ防止を身近に意識できるグッズを配布する

5 今後の取組

- ✓ いじめ総合対策【第3次】の策定
 - ・ **授業改善**、**生徒主体の行事**・**教育活動** 等
- ✓ 子供版「いじめ総合対策」の作成
 - ・ **当事者意識**、**雰囲気づくり** 等
- ✓ 高校生いじめ防止協議会の継続実施

具体的取組について今後検討

- ◆ 困ったときに相談しやすい環境等整備
- ◆ いじめ防止を身近に意識できる啓発物の作成・配布



【参考】アンケート

実施時期：令和6年8月末～9月上旬

対象：高校生委員の在籍校

回答数：2,499件

アンケート項目（高校生員が作成）

- 設問1 学年を教えてください。
- 設問2 最近友人や先生にされた、嬉しかったことを記入してください。
- 設問3 あなたが他の人に優しくできたと思うことを記入してください。
- 設問4 いじめに関して、学校で行ってほしいことを記入してください。
- 設問5 いじめに関して、国や東京都に行ってほしいことを記入してください。
- 設問6 困ったことがあったとき誰に相談しますか？
- 設問7 あなたは、今までにいじめられた経験はありますか？
- 設問8 あなたは、悩みがあった時にスクールカウンセラーと話したいですか？
- 設問9 なぜそう思うのですか？
- 設問10 どのような相談室（カウンセリングルーム）であれば相談に行きますか？
- 設問11 いじめ予防のためにした方がいいと思うことを選択してください。
- 設問12 いじめアンケートの電子化についてどう思いますか？
- 設問13 なぜそう思うのですか？
- 設問14 "スクールカウンセラーとの全員面接は、いじめ防止に役立っていると思いますか。
※現在、小学5年生・中学1年・高校1年で実施"
- 設問15 なぜそう思うのですか？

回答者のいじめに関する状況

いじめられた経験がある：389人

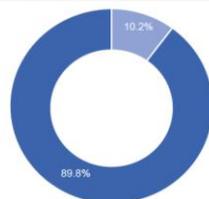
不快なことをされたことがある：680人

全くない：1,384人

その他：46人

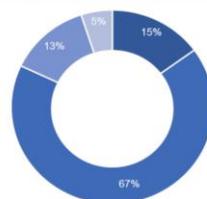
アンケート結果（抜粋）

問8 悩みがあった時に、スクールカウンセラーと話したいですか？



・はい ・いいえ

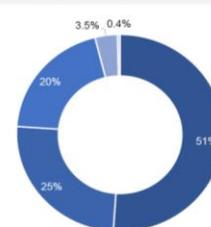
問14 全員面接について、いじめ防止に役立っていると思いますか？



・とても役立っている ・役立っている ・役立っていない ・ほとんど役立っていない

- ・SCIに話したいと回答した約10%は、いじめられた経験がある生徒が多く、いじめの経験がある生徒ほど、SCが貴重な存在となっている
- ・日常的にSCとのコミュニケーションや全員面接、カウンセリングルームの開放の機会を増やすことによって、SCIに相談しやすい環境づくりを実現することができるのではないかと

問12 いじめアンケートの電子化について



・とても賛成 ・やや賛成 ・どちらでもない ・やや反対 ・とても反対

- ・いじめアンケートの電子化には、約77%の生徒が賛成している
- ・教室での紙媒体への記入による回答方法は他の生徒に回答が見られる恐れがあり、嫌だと感じているため、電子化に賛成している可能性もある
- ・アンケートの電子化により、定期的な実施が実現できる可能性